

## 神奈川県内の取組み事例

(神奈川県農政事務協議会資料より)

第4回鎌倉市農業振興協議会(H21.7.3)資料3-3

### 耕作再開のための事例

#### (藤沢)地域活性化事業費

荒廃地(対象地域を特定)に向けた取組に対し支援を行い、荒廃地等を縮減する。  
また地域の活性化拠点の整備を実施。

果樹栽培の助成 20a 補助率 1/2

地域活性化拠点の整備

#### (秦野 農業委員会)

荒廃遊休農地の防止・解消に必要な支援を実施。

農地流動化整備事業補助金(0.5ha)

荒廃農地解消対策事業補助金(1ha)

遊休農地解消対策事業補助金(5ha)

農地等情報集積事業

鎌倉市の遊休農地解消対策協議会の活動と同じですが、市民ボランティアが活躍している。募集にあたってのキャッチコピーは、「一緒に汗をかきませんか?」だった。

地域の力を使った事例

#### (横浜)リフレッシュファーム事業

リフレッシュファーム事業は、局と区が連携し、区内の不耕作地を地域住民の力で復元し、開墾から、農作業体験、農地周辺の美化活動を通して、区民の健康・生きがいがいづくりにつなげていく事業。(事業費予算は、区と市で)

平成20年度開始、約40人の区民が、地元農家の指導もと、月2回の活動。

はじめは、石拾いから、今では、ソバ・ジャガイモ・サツマイモが育っている。

平成21年度は、引き続きの栽培・収穫体験を行うとともに、今後の活動を計画予定。

#### (相模原)景観草花栽培事業補助金

花と緑豊かなまちづくりに資するため、一定面積以上の景観草花(レンゲ・菜の花など)の栽培に対して、助成を行う。

#### (厚木)景観作物奨励事業

遊休農地の解消と発生防止を図り、

食料生産、景観形成など多面的な機能を持つ農地を保全するため、

景観作物の種子配布を行う。

作物を植え付けすることができないような場所や農地の再生に市民も参加できるような取組み。

#### (海老名)リフレッシュ農地利用推進事業

街並み景観と調和のとれた農地景観形成のため地域の話し合いを基に、景観植栽等を実施、住民参加による農地の保全利用を図る。

花の群落育成 勝瀬地区 1.7ha 中野地区 0.5ha

花のさとまつりの実施

#### (座間)農地景観植栽事業費

農地の荒廃地化の防止を目的に市の花「ひまわり」を植栽している団体に補助を行う。

実施団体 座間市ひまわり推進協議会 面積 約5.45ha(市内5か所)

### （横浜）機械作業受託組織育成事業（H21 新規）

高齢化や兼業化などによる労働力不足の農家や、必要な機械を持たない農家などの農作業を支援するため、機械作業を受託する地域に根ざした組織を育成し、農地の荒廃を防止します。 組織育成調査：1区

J A の協力

### （相模原）農作業受託オペレーター事業補助金

遊休農地を解消し、農地の適正な保全を図るため、市農協営農センター及び郡農協が実施する農作業受託オペレーター事業に対して助成。

農作業受託オペレーター事業経費（除草費・耕耘費・土壌改良費・オペレーター費）

### 担い手への集積

利用集積の推進のために

### （厚木）農地流動化奨励金

遊休農地の解消と発生防止を図り、食料生産、景観形成など多面的な機能を持つ農地を保全するため、農業基盤強化促進法に基づく利用権設定者への奨励金の交付。

### （横浜）農地貸付促進事業（H21 新規）

市が仲介する農地貸借は3年以内の短期が大半であり、借り手である規模拡大希望農家や農業に参入する法人の営農計画に支障をきたしていたため、貸し手の農地所有者に奨励金を交付することで長期間（6年以上）貸し付けるよう誘導するもの

長期貸付設定予定面積：2ha

### （茅ヶ崎）援農ボランティア制度（農業生産活動を補完する援農ボランティア育成）

農作物の栽培技術を習得しながら健康づくりを図りたいと考える方に援農ボランティアとして登録をしてもらい、日々の農作業及び農地の管理に際して農業従事者の不足を感じている農家で農作業の手伝いを通して、農業技術や健康増進等の余暇の充実に図る。

この制度を効果的に実施するために、農業研修講座（基礎的な農業技術の取得）を実施。

### （藤沢）後継者育成対策事業（H20 年度から）

農業後継者及び新規就農者を育成する。

農業アカデミー就学や農業経営の向上に向けた研修費用の助成。

農家開設型の体験農園。横浜市などで都市近郊の農地で開設されている。

高齢化の中で、農地を荒らさないしくみとして、脚光を浴びている。

### その他の活用

### （横浜）収穫体験農園の開設支援事業

市民が身近なところで地産地消を実感できるよう、ナシのもぎ取りやブルーベリーやイチゴの摘み取りなど、市民が収穫体験をすることができる果樹園や農園の整備を支援。

整備予定面積 0.8ha

### （横浜）市民利用型農園設置支援事業

市民の農業への理解を深め、良好な農地保全を図るため、市民利用型農園の開設、運営の支援など環境行動と連携した農体験の場を充実。

栽培収穫ファーム、環境学習農園の設置促進、特区農園の開設・運営支援を行う。